



あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校



『今年のあまぬままつり』

主幹教諭 稲葉八重子

10月は、2年ぶりに「あまぬままつり」を実施しました。昨年度は、感染症予防対策の一環で中止になった学校行事でしたが、今年度は、新たな形で実施することができました。これまででは、1年生から6年生までの全員がお店を開き、交代でお店当番とお客様になり、保護者や地域の方も参加する、まさに「お祭り」で、みんなでわいわいと楽しむ行事でした。

今年度、新しい「あまぬままつり」は、2日間に分けて実施しました。1日目は1・2年生こだま学級が、2日目は3・4年生がお店を開きました。そして、5・6年生は、裏方として、「クラスサポーター」「広報」「代表委員(まつりの進行)」の仕事を担いました。

お店を開くクラスは、何週間も前から準備を始めます。どんなお店にするのか、どんなルールにするのか、誰が何の役割をするのかなど、クラスのみんなで話し合って決めることがたくさんありました。お店の内容が決まれば、ゲームの道具作成、ルール説明の練習、教室の装飾など、準備することがたくさんあります。

話し合いや準備を進める過程では、楽しい活動のはずなのに、いろいろとうまくはいかないこともあったと思います。話し合いで意見の対立、積極的に動く人と消極的な人との温度差、活動中のちょっとしたトラブル。それらは、クラスのみんなで乗り越えなければいけない大切な過程でした。その過程で、普段の学校生活の中では、考えることのなかったこと、感じたことのない思いなどいろいろと体験・経験できたと思います。

一方5・6年生は、これまでとは全く違う役割を担うことになりました。

「クラスサポーター」は、1~4年生の各クラスに8名程度ずつ付きました。事前の話し合いや準備、当日のお店の進行など、すべてに関わりアドバイスをしたり働いたりと臨機応変に様々な動きを期待されました。当日、お店で活動する子どもたちの中で、目立つことなく、よく目を配りながら献身的に働く5・6年生の姿をたくさん見ることができました。「広報」は、当日各クラスのお店の様子を撮影したり、インタビューしたりして動画にまとめました。各クラスの子どもたちは、自分たちのお店や来てくれたお客様の様子について客観的に振り返る機会を得ました。「代表委員」は、閉会式の30分以上前に集まって、司会台本を読む練習をしていました。「もっと声を上げるように読みましょう。」「読み間違えないように、もっと練習しましょう。」など指導を受け、本番は、とても上手に聞き手に伝わる話し方ができていました。お店を開くことはなかった5・6年生でしたが、高学年らしい学びの機会になつたと感じました。

当日は、例年と同じように、児童は交代でお店当番とお客様になりました。5・6年生も、交代でお客さんになりました。たくさんのお店を楽しそうに回る姿、お店の仕事に生き生きと取り組む姿、表舞台ではなかたけれどきちんと役割を果たす姿、どれもとても素敵な姿でした。閉会式を終え片付けている時には、どの児童からも満足そうな笑顔が見られて、うれしく思いました。

コロナ禍で、学校行事の見直しや精選が必要となりましたが、子どもたちの大きな成長につながる大切な教育の機会である学校行事の在り方や必要性について、改めて考える機会となりました。

** 今月の目標 **

生活

学校をきれいにしましょう
～2学期の反省をしましょう～

保健

かぜやインフルエンザを
予防しましょう

給食

バランスよく食べましょう

12月の行事予定

日	曜	行 事 予 定
1	水	こだま移動教室始 委員会活動
2	木	5時間授業 安全指導 こだま移動教室終
3	金	展覧会始
4	土	土曜授業・給食無 セーフティ教室35 展覧会終
5	日	日曜展覧会
6	月	低フォ
7	火	フォ
8	水	
9	木	HS
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	午前授業 書初め3 保護者会56(14:00)
14	火	午前授業 書初め4・6 保護者会34(14:00)
15	水	
16	木	午前授業 書初め5 保護者会12(14:00)
17	金	たてわり班
18	土	国際交流の集い
19	日	ユニカール協会(アリーナ全日)
20	月	5時間授業
21	火	理科出前3 フォ
22	水	
23	木	給食終 HS
24	金	特時・給食無 最終下校12:15 終業式・大掃除
25	土	冬季休業日始
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	冬季休業 12月25日（土）から1月10日（月）
30	木	始業式 1月11日（火）特別時程・給食無 下校 12:15
31	金	

【保護者会】

- 1・2年：16日(木)14:00～
 3・4年：14日(火)14:00～
 5・6年こだま学級：13日(月)14:00～
 場所は、5年のみアリーナ、他各教室



学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまぬまワンダラーズ)の活動を紹介します

10月23日（土）にあまぬまハッピーサタデイ「ハピサタ ハロウィン」が開催され、約230名の児童が参加しました。開校以来、毎年開催していますが、昨年度は初めて外歩きを中止し、校内だけの開催になってしまいました。児童からは「これも楽しいけど、外歩きをしたい！」という声が多数寄せられたため、今年度は学区内にある5か所の公園を巡るという形に変更し、外歩きを復活させました。思い思いの姿に仮装した子どもたちの楽しそうな声が響き渡っていました。

ハピサタはサポーターの方々がいないと実施することが出来ませんが、今回もたくさんのサポーターの皆さんのおかげで無事に実施することができました。これからもご理解、ご協力をよろしくお願いします。



学校運営協議会コーナー

学校評価アンケートのお願い

学校運営協議会では、児童、保護者、教員、地域の方を対象にした「学校評価」アンケート調査を毎年行っています。これは、天沼小学校の学校運営方針に基づく様々な取組について、皆様からの貴重なご意見をいただき、その結果を踏まえて一年間を振り返るとともに、次年度の学校運営に活かしていくものです。アンケートの回答方法を一昨年度よりWebでの回答を可

能にいたしました。今年度も、用紙配布は希望者の方のみとさせていただきます。最後になりましたが、昨年度同様コロナウィルスの影響で例年と形を変えての活動等ございますが、皆様の学校教育へのご理解とご協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。また、年末年始のお忙しい中ご協力頂きます事、重ねて御礼申し上げます。

情報モラル教育

本校の情報モラル教育では、例えば「自分と相手では同じ言葉でも受け止め方が違う」ということや、「パスワードは他人に知られないように管理しなければならない」、「インターネット上に書き込んだ内容は世界中の人を見ることができる場合もあり、簡単に消すことはできない」など、子供たちがこれから情報化社会で生きていくために必要な知識や態度について学んでいます。特に今年度からはタブレット端末を自宅に持ち帰ることになり、教員の目の届かない場所でも使うことができるようになったため、正しい情報モラルを身に付けることは尚更必要になったと言えます。情報端末やインターネットを活用してこれまで以上に学習の可能性を広げつつ、しっかりと守るべきルールを守っていくことで、確実に一人ひとりの学びへと繋げていきたいと考えています。

情報モラル教育の中心となる教材「SNS東京ノート」は東京都教育委員会が開設している「とうきょうの情報教育」というサイトから誰でも閲覧できるようになっておりますので、ご興味のある方はお読みいただければと思います。

(https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/tokyo_rule.html)



音楽科でのiPad・ロイロノートを活用した授業

10月27日(水)5校時に音楽科の研究授業が行われました。

6年生は、展覧会のBGMとして作詞作曲をした音楽を録音しました。研究授業では、録音した音楽にiPadの「GarageBand」を使って挑戦した編曲をみんなで聞き合って、タブレットパソコンの「ロイロノート」（アプリ）で、感想を共有し編曲のコンテストをしました。



ICT推進 高学年編



年生は、「天沼まつり」で運営を担当し、サポートした下級生のクラスの作業風景を撮影・動画編集をしました。6年生は、総合的な学習の時間「わたしたちの天沼」でロイロノートの「シンキングツール」を使いながら、天沼地域をよりよくするためのアイディアをまとめています。今後も子供たちの考えを引き出し、主体的に学習に取り組めるよう、ICTを有効活用していきたいと考えています。

国の「GIGAスクール構想」のもと、どの地域でも一人1台タブレット端末が配備されつつあります。本校では、3年生以上は普段からタブレット端末を活用した学習が進められ、低学年でも学年の発達段階を考慮しながら活動に取り組んでいます。

今月は、高学年のICT機器を活用した取り組みを紹介します。5

1年生は初めての天沼まつりでした。各クラス、来てくれたお客さんに楽しんでもらうためにどのようなお店にしたいか、どのように準備をすすめていくかを一生懸命考えました。当日は2Fのフロアがお客様でたくさんになるほどの大盛況で、どのクラスの子供たちも張り切ってお店屋さんをしていました。お客様としても、他のクラスや学年のお店に行き、「こんなお店があったよ。」「次はあのクラスに行ってみよう。」などの声が飛び交う楽しい一日となりました。また、今回は6年生がクラスサポーターとしてお手伝いをしてくれました。お店ミーティングでは、看板作りのアドバイスやPR集会の原稿作成など、当日に向けて一緒に取り組むことで、6年生の頼もしさを感じていました。

1
ねん



2年生は、アリーナで、4つのお店を開きました。1組はボール入れ、2組は的あて、3組は魚釣り、4組はボーリングのお店でした。みんなが楽しんでくれるようなお店を目指して、クラスで話し合いをすすめていきました。また、今年度は自分たちだけではなく、6年生にもお店を開くときのアドバイスをもらったり、それぞれの係の手伝いをしてもらったりしました。高学年の児童と一緒に準備をすることで、お店づくりに対する意欲も増し、楽しく活動することができました。4つのお店はどれも大反響で、大成功に終わった天沼まつりでした。



2
ねん

天沼まつり特集

3年生の天沼まつりは、各クラスでそれぞれ「犯人当てゲーム」、「遊びの大ぼうけん」、「宝さがし」、「脱出せよ! 3年4組クイズ迷宮」というお店を開きました。お店を出す準備では、5年生が手伝ってくれました。2年ぶりの天沼まつりということで、5年生のアドバイスを聞きながら、お店のデザインやゲームの内容について、みんなで話し合って決めました。

天沼まつり当日は、どのクラスにもお客様がたくさん訪れ、教室の前に行列を作っていました。お客様はもちろんのこと、店員をしている子供たちもとても楽しそうに接客をしている姿が印象的でした。

3
ねん



今年度から5・6年生は、まつりの運営側・サポート役となり、「クラスサポーター」「広報」「代表委員(まつりの進行)」の3つの役割を務めました。「クラスサポーター」は各クラスのお店のサポートを、「広報」は、準備や当日の様子を映像にまとめました。「代表委員」は、開閉会式など全体の進行を務めました。「今までの経験を生かしてアドバイスをすることができた。」「他の学年の子と関わって楽しかった。」「自分たちでお店をやるとの同じくらい有意義な時間を過ごすことができた。」「自分のことに夢中になると声をかけられなかったから、周りにも気を遣えるようになりたい。」「もっと積極的に関わればよかった。」と、様々に感じた一日でした。高学年として、これからも学校を引っ張っていくような行動ができる期待しています。

5・6
ねん



どのクラスも、どのようにしたらたくさんお客様が来てくれるのかや、楽しむための工夫についてよく話し合いました。今年は、5年生にアドバイスをもらったり、準備や本番で手伝ってもらったりしながら取り組みました。次から次へとお客様が来ていたので忙しかったようですが、とても楽しんでいる姿がみられました。また、「5年生が協力してくれたおかげで、お客様がたくさん来てくれた!」という声も聞こえました。

今回学んだ「みんなで協力すれば達成できる」ということを、普段の生活に生かし、よりよいクラスになるよう言葉掛けをしていきます。今回5年生の姿をみて、「来年にはこのようになってみたい。」と思った児童も多いようです。助けてもらった経験を、次は下級生に伝えていけるようになってほしいと思います。



4
ねん

2年ぶりの実施となった天沼まつり。こだま学級では、「おはしdeチャレンジ」というお店を行いました。20秒の制限時間で、おはじきやピース、ふわふわスポンジをおはしでつまんで隣のお皿に移すというゲームです。お店ミーティングでは、お皿の中に入れるものはどうしたらよいか、何秒あれば盛り上がるか、どんな係があればよいかなど、お店ミーティングの準備の段階から一生懸命考えていました。天沼まつり当日は、たくさんの子供たちがお店に来てくれました。「楽しかったから、また来たよ!」と、多い子では3回も並んでいました。こだま学級の子供たちもそれぞれの係を頑張り、楽しくとても充実した一日を過ごすことができました。



こだま